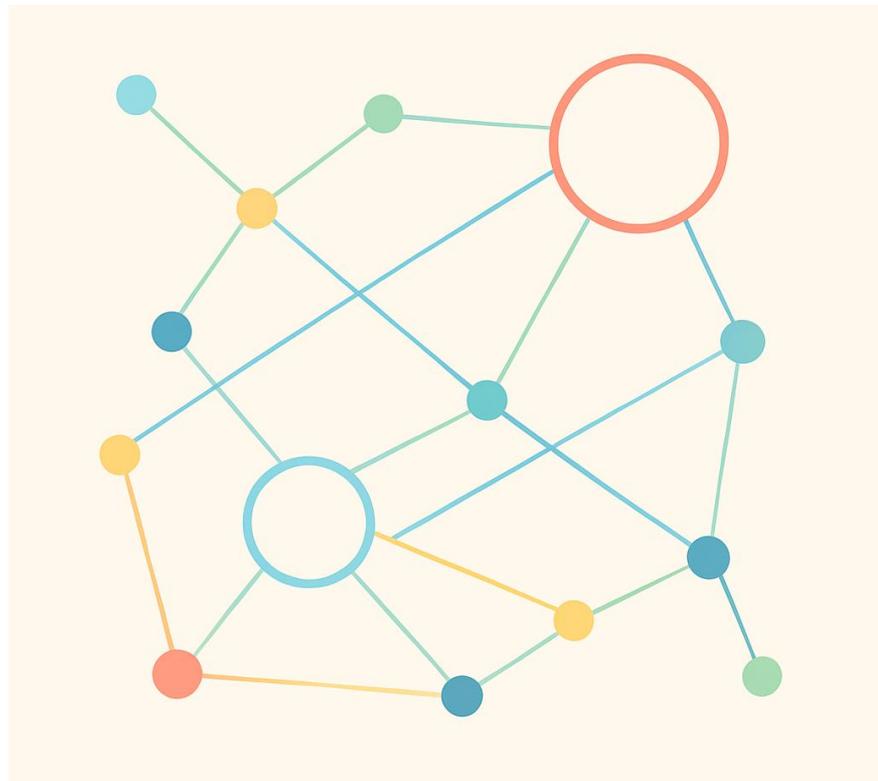


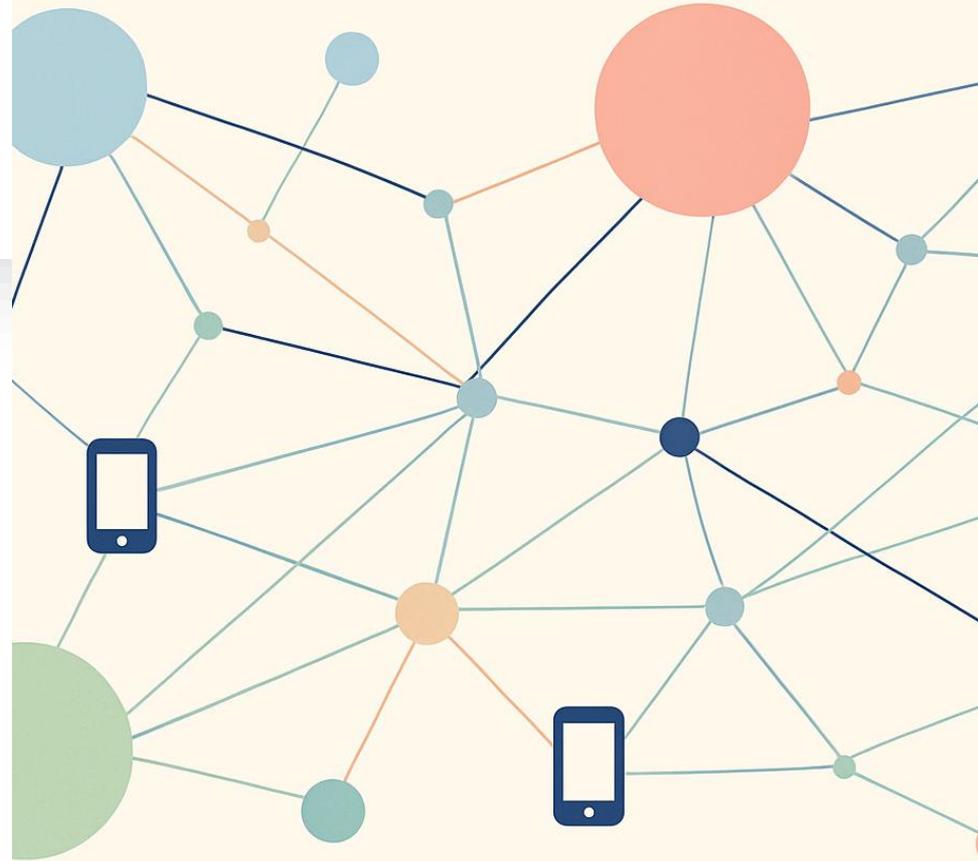
# 指定都市PTA情報交換会

## 第一分科会：組織運営



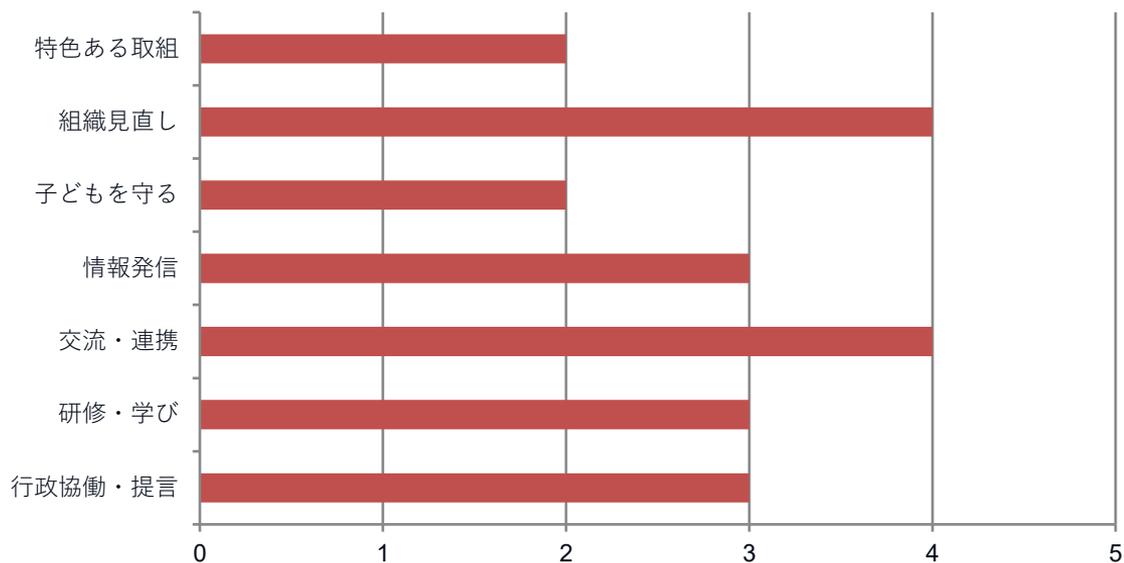
# 事前アンケート

- 第一次アンケートの概要
- 重点取組と解決への取り組み
- 行政連携と課題
- 第二次アンケート結果
- 傾向とインサイト
- まとめと次のステップ



# 第一次アンケート：重点取組

重点取組別の参加都市数



**交流・連携強化と組織見直しが最も多くの都市で重視されています。**

# 行政との連携：成果と課題

## 成果

要望反映・施策への影響

協議・懇談の場の確立

イベント・研修の共催

保護者・PTAの行政参画

## 課題

会員意見の集約不足

PTAと行政の感覚のずれ

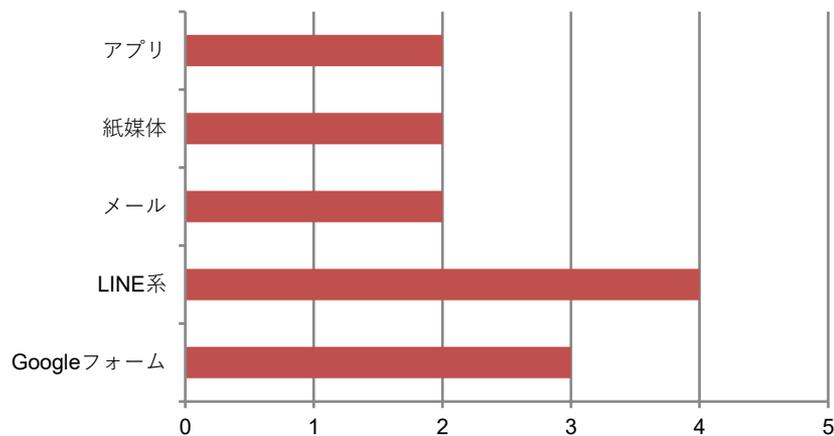
参加の減少・継続性

連携の深まりが必要

成果	課題
要望反映・施策への影響	会員意見の集約不足
協議・懇談の場の確立	PTAと行政の感覚のずれ
イベント・研修の共催	参加の減少・継続性
保護者・PTAの行政参画	連携の深まりが必要

# 第二次アンケート：要望の集め方と内容

要望の集め方：使用ツール別都市数



## 学習環境・施設

施設整備・ICT環境・校舎改善



## 子どもの支援

不登校対策・居場所づくり



## 教職員

人材確保・働き方改革



## 給食・保育

学童保育・給食職場改善

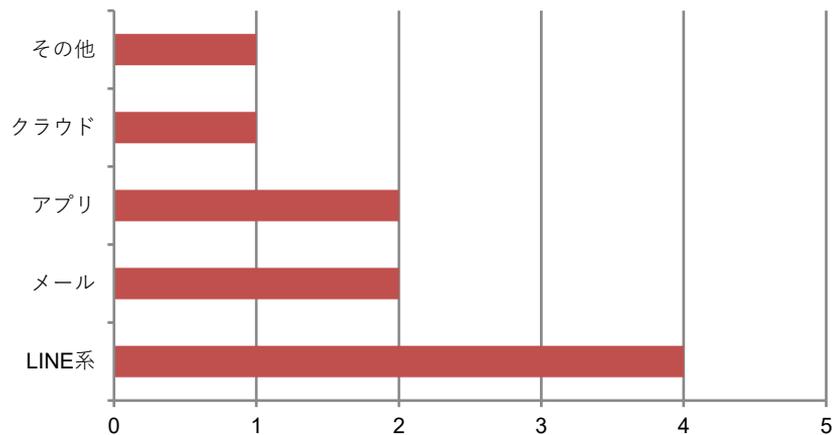


## その他

部活動・ネット環境等

# 第二次アンケート：情報連携と加入手続き

情報連携ツール別都市数

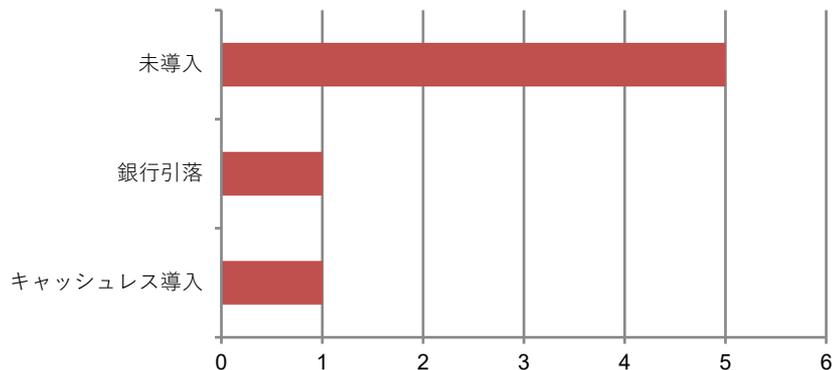


## 加入・退会に関する傾向

- ・多くの協議会では加入届の提出は不要。退会時のみ届け出を受理。
- ・退会の際は総意と校長合意を確認（静岡市など）
- ・加入届を運用しているのは一部（熊本市）。

# 第二次アンケート：会費集金と協議会の役割

PTA会費集金方法別都市数



## 声を行政へ伝える

スケールメリットを活かし、要望を集約・提言



## 保険・制度の運営

子ども総合補償制度等、共同で運営



## 単Pの支援と情報共有

LINEや相談会を通じて活動共有・困りごとを支援



## 仲間づくりと成長

交流を通じて人材育成し、社会参加を促進

# 第二次アンケート：部活動の地域移行

都市	実施状況・時期	課題	PTAの関与
相模原	方向性は出たが詳細未定	受け皿確保・指導者・費用・場所	議論初期段階
静岡	2027年9月廃止宣言 地域クラブへ移行	費用負担や資金・物品の処分方法	情報提供の依頼のみ
京都	特定部活で試行的に移行	課題整理中	関与なし
千葉	2023年モデル事業開始 令和8年度中に休日活動移行	指導者不足・費用負担・運用課題	委員会に参加
北九州	市の方針提示あり	地域格差・指導者不足・保護者の認知不足	関与検討中
熊本	小学校は地域で継続 中学校は令和9年から準備	受け皿不足・支払方法検討	未定
堺・横浜	準備段階・検討中	未確定	未定



# 傾向とインサイト



## デジタル化の進展

LINEやクラウドを導入する自治体が増加。アナログな情報共有から徐々に移行中。



## 組織運営の透明性

加入届や退会手続きの明確化・会計見直しが進むが、多くはまだ口頭処理。



## 財務と制度の革新

キャッシュレス集金は始まったばかり。保険制度の運営が重要な役割。



## 新たな課題への対応

部活動の地域移行やVUCA時代のPTA像など、今後の議論の主役に。

# まとめと今後のステップ

## 総括

第一次アンケートでは各都市の重点取組と課題が浮き彫りとなり、情報交換を通じて他協議会へ質問したいテーマが明確になりました。

二次アンケートではその疑問に具体的な回答が寄せられ、デジタル化や制度運営、部活動移行など共通の課題が共有されました。

-  情報共有プラットフォームの強化：LINE等の既存ツールを活用しつつ、共通クラウドの導入を検討
-  キャッシュレス集金と会計透明化：早期導入事例を共有し、単Pへの支援体制を構築
-  加入・退会手続きの標準化：ガイドライン作成と周知でトラブルを防止
-  部活動地域移行への対応：行政との連携を深め、保護者への情報提供を充実